

旧東口サービスコーナー再活用
ご意見一覧表

No.	ご意見
1	会議室が少ないので、会議室として活用してほしい(夜間でもよい)。
2	アート、作品、写真展示ができるスペースがあるのは賛成。それ用の照明も必要。作品数によって展示できる。
3	スペースを広げることができると良い。その分のパネルも必要。 ----- 中小企業も利用できるように希望する。
4	使用・利用する人が気軽の利用できるコーナーであることを第一に考える事。 ----- 全フロア床面積が50坪であることを第一に考えること。 ----- 北側の街なか広場との組み合わせ、相乗効果(雨天の時又はトイレの整備・使用) ----- 他市他県の観光旅行の街中ウォーキングの休憩所としての使用(有料コーヒーや市内の菓子) ----- ビニール名入のカサ無料貸し出し ----- 大型テレビによる市内の観光案内
5	市民が気楽に自由に出入りできる憩いの場として、開放的な明るいオープンスペース中心に考え、閉鎖的な規制等はできる限り少なくする。
6	市の中心街で、面積も小さいことから、効率的に活用する為、交流スペースを5テーブル、休憩スペースを3テーブルにする。 ----- 市内にはギャラリーが何件もあることから、有効に活用する為、ギャラリーは2Fに設けたほうが良い。 ----- 授乳スペースも2F。 ----- おむつ交換台も2F。 ----- 2Fに余裕があったら、子ども広場(遊び場)等設けてもらいたい。 ----- 街なか広場との連携を考えてつくるべき。市内の一等地なので！ ----- 外観の色合い、床張りの色合いも明るくなるよう考えてもらいたい。 ----- 落書き用黒板も2Fにつくるべき。 ----- テレビの設置場所も十分に考えて作ってほしい。
7	開館時間帯は、市の提案通り19:00までとするのが妥当。夜間(とくに冬季)は人通りが少なくなり、交流・休憩スペースとしての効果が乏しくなる半面、防犯上のリスクが高くなる。 ----- 女性であっても1人勤務できるよう、配慮が必要。 ----- 交流スペースは、活動発表やそのための打ち合わせ、あるいは文字通りの交流を行う場所と考えたい。 ----- 通常の「会議」は、ウィズもとまち、あるいは市民活動サポートセンター等を利用するという事で、区別をしたほうがいいのではないかと。 ----- アップライトピアノを設置するというのはいかがでしょうか。誰でも弾けるピアノを街なかや公共空間に置くアイデアが世界で注目されていますので、利用者がふえれば注目度は飛躍的に高まる事が期待される。またピアノがあれば、小さなリサイタルや歌声イベントを開くこともでき、いろんな意味で効果的だと思う。
8	ふくサポのロビーや交流広場の利用の仕方と明確な違いがわからず、目と鼻の先で同じような目的の施設が必要かどうか疑問を感じた。ふくサポとしても利用者を増やすために努力はしているが、利用者の奪い合いは避けたい。(うまく連携できればいいが…) ----- 休憩スペースの利用法は良い。 ----- 交流スペースはターゲットを絞った方が良い。 ----- 色々な方に利用してほしいのであれば、曜日や日にちで利用者を変えるなどの工夫が必要。例えば、月・水・金は学生、15日は年金支給日でなので64歳以上の方が利用できるなど、何らかの制約を設けないと、何の施設でどんな人が利用できるのか、分からなくなってしまうのでは？まさに「多目的が無目的」になってしまわないように。 ----- 市民と行政と一緒に育てていく施設は非常の良いと思うが、運営委員の選定が大切。前向きに良い施設に育てていこうというメンバーを選定してほしい。 ----- 東北絆まつりに照準を置いて進めているのはわかるが、リニューアル工事も必要最低限し、走りながらも施設の最終的な目的に沿ったお金の使い方をお願いしたい。
	現状の案は、「典型的な成功しない(失敗しないかもしれない)パターン」であると感じた。 ----- まずは目的。「まちの活性化(部長談)」に向かって「施設がどのような状態になること」を目指すのか？

9	<p>「ターゲット」は誰？「特定の人の施設になってはならない」という想いが、総花的で「誰も来ない」「成功イメージが解らない」施設案をつくっている。全ての市民が来る施設などありえない＝来た人は目的のある特定の人＝誰も排除しなければ特定の人のための施設ではない＝基本のターゲットを絞るべき)</p> <p>例えば、①市内外から(イベントなどで)人を呼ぶ</p> <p>②(自分の居場所として)市民が自発的に街に出てくる</p> <p>③用があって出てきた市民が(看板などを見て)ふらっと立ち寄り市街にいる時間を長くする</p> <p>④街を歩く市民の不便さ(トイレ・休憩)を解消する</p> <p>⑤手を挙げた(特定の?)市民(団体・学生・社員・商人…)の活動の場・活動発表の場＝市民交流の場とする</p> <p>⑥地元町内会・商工会が人を呼ぶための常設会場とする…など。</p> <p>具体的な施策は「主目的」によって決めるべき。…人を呼ぶのは大変。</p> <p>「今までにない施設にする」という意気込み・考えは、行政の進化を感じる。「育てていく施設」という発想には絶賛する。</p> <p>目的がはっきりしていれば、不完全でもスタートしてよい。ただし、だれが主体的に「育てる」のかが重要、人の「永続性」が要注意。逆に、「育てる」人が次々と生まれる施策(施策案)を考えてからスタートすべき。</p> <p>地域重鎮参加の「運営協議会」は、クレーム防止のリスク回避なのか？上記から、「運営協議会」のメンバー選定が大切。施設を主体的に管理運営し育てる人たちを中心につくるか、少なくとも施策案のリスク回避はするものの「暖かく見守る」姿勢で一緒に育てる方々でいてほしい。「とりあえず街の…」はやめた方がいい。</p> <p>「日程ありき」は理解できるが、だからといってムダ金は使いたくない。市民団体活動展示・8Kテレビ・ピアノ・イベント…などアイデアから入るのは危険。</p> <p>スペース利用レイアウト・利用時間などは、難しくとも出来るだけ自由度高くスタートすべき。「集まる人・利用する人の目的は何か」を考えたお金の使い方を…。</p>
10	<p>多言語対応など、オリンピック後を想定した施設運営＋整備を。</p> <p>特にイベント時等、柔軟な時間運用への対応をお願いしたい。</p> <p>Wi-Fiは設置されると思うが、スマホ等の充電スタンドなども来訪者には有用かと思う。</p> <p>おそらく、学生自習スペースとしての利用も多いと思う。空いている時は良いが、イベントの際などが見込まれる際は、占有しない配慮が必要になるかと思う。(市として自習スペースの拡充課題)</p>
11	<p>私ごとだが、旧東口行政サービスコーナーという施設の存在を知らなかった。市からの説明会の会場の位置を知らず、周辺で訪ねて到着した。市民の認知度の低さがうかがわれる。</p> <p>施設の機能の充実はもちろんのことだが、まず市民にこの施設の存在を知ってもらい、気軽に立ち寄れるよう、広報・看板・目印などでPRしてほしい。</p> <p>説明会を受けた、施設のレイアウト等は十分だと思う。</p>
12	<p>説明会で出された意見、絆祭りまでの施設の利活用については結構。</p> <p>どんな施設にするかの基本は、中長期的に市民に本当に喜んでもらえる施設とすることだと思う。</p> <p>福島に限ったことではないが、中心市街地の衰退や、人口の減少に幾らかで役立つ施設を目指すべきと考える。</p> <p>1. そのためには、中心市街地(まちなか広場を中心とする)に賑わいを取り戻すため、比較的暇とお金に余裕のある中高齢者に気軽に立ち寄ってもらえるスペースとすること。</p> <p>2. 中高年の方が、ちょっと寄りたくなるような、魅力的な施設・企画(ハード面・ソフト面)を常時発信すること。</p> <p>3. 誰もが自由に入れるスペース(年寄りから乳幼児・子どもまで)を設けることで気軽に休憩・会話できるような施設とする。</p> <p>4. 外国人観光客も気軽に入ってもらえるスペースとし、例えば福島で売り込んでいる円盤餃子を昼間でも食べてもらえる軽食コーナーの設置…これは行政で出来るものではないので、民間に協力してもらおう。</p> <p>人も集まる仕掛けを考えるべき。</p>